

## 平成26年第1回那珂川町議会臨時会

### 議事日程(第1号)

平成26年1月17日(金曜日)午前10時開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第1号 平成25年度那珂川町一般会計補正予算の議決について

(町長提出)

日程第 4 議案第2号 那珂川町小川総合福祉センター太陽光発電事業整備工事請負契約の締結について

(町長提出)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(13名)

1番	佐藤信親君	2番	益子輝夫君
3番	塚田秀知君	4番	鈴木雅仁君
5番	益子明美君	6番	岩村文郎君
7番	小林盛君	8番	川上要一君
9番	阿久津武之君	10番	橋本操君
11番	石田彬良君	12番	小川洋一君
13番	大金市美君		

欠席議員(なし)

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町長	福島泰夫君	副町長	佐藤良美君
教育長	小川成一君	会計管理者兼会計課長	塚原富太君
総務課長	益子実君	企画財政課長	藤田悦男君

税務課長	小室金代志君	住民生活課長	橋本民夫君
健康福祉課長	小川一好君	建設課長	山本勇君
農林振興課長	星康美君	商工観光課長	大金清君
総合窓口課長	秋元誠一君	上下水道課長	秋元彦丈君
環境総合推進室	佐藤美彦君	学校教育課長	川和なみ子君
生涯学習課長	穴山喜一郎君	農業委員会 事務局 局長	小祝邦之君

職務のため議場に出席した者の職氏名

事務局長	増子定徳	書記	板橋了寿
書記	加藤啓子	書記	藤田善久

開会 午前10時00分

#### 開会の宣告

議長（大田市美君） ただいまの出席議員は13名であります。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成26年第1回那珂川町議会臨時会を開会いたします。

#### 開議の宣告

議長（大田市美君） 直ちに本日の会議を開きます。

#### 議事日程の報告

議長（大田市美君） 本日の議事日程につきましては、お手元に配付したとおりでありますので、ごらんいただきたいと存じます。

#### 会議録署名議員の指名

議長（大田市美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、10番、橋本操君及び11番、石田彬良君を指名いたします。よろしくお願いします。

#### 会期の決定

議長（大田市美君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は本日1日としたいと思いますが、これに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

議長（大金市美君） 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

議長（大金市美君） 日程第3、議案第1号 平成25年度那珂川町一般会計補正予算の議決についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

〔町長 福島泰夫君登壇〕

町長（福島泰夫君） 皆さん、改めまして新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

本日はお忙しい中、平成26年第1回議会臨時会にご出席を賜り、まことにありがとうございます。

昨年12月30日でございますが、小川地内で住宅火災がございました。氷点下になっている中での坂道での消火活動にご尽力いただきました地元消防団の皆様、また、寒い中、炊き出し等支援してくださいました地元の皆様に御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

また、1月4日には松野地内で人身事故、死亡事故がございました。痛ましい事故でありました。これからまだまだ火災発生の危険、また積雪等での交通事故の発生のおそれ、まだまだ十分ございます。安心・安全のまちづくりのために、行政、町民一丸となって邁進してまいりたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたしたいと思います。

それでは、提案理由の説明に入らせていただきます。

議案第1号 平成25年度一般会計補正予算の議決について、提案理由の説明を申し上げます。

補正予算書の8ページ及び9ページをごらんください。

今回の補正予算は、環境のまちづくり事業費の太陽光発電等設備導入補助金の申請件数増加に伴い、太陽光発電26件及び高効率給湯器18件分の補助金500万円を増額計上するものであります。

10月以降の申請状況につきましては、太陽光パネルの供給体制が整ってきたことに加え、本年4月からの消費税率アップを見越して駆け込み需要が高まってきており、大幅に申請件数が伸びてきております。これらのことから、今後の申請を見越して増額計上するものであります。

これらに要する財源は、繰越金を充てることといたしました。これにより、補正額は歳入歳出それぞれ500万円の増となり、補正後の歳入歳出予算の総額は85億1,610万円となりました。

ご審議の上議決賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

議長（大金市美君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はございませんか。

益子輝夫君。

2番（益子輝夫君） では、質問させていただきます。

1つは、多分この補正は2回目だと思うんですが、当初予算と3回目になると思うんですが、その具体的な内容をお聞きしたいと思います。

1つは、総体で金額がどのくらいになるのか、また、先ほど町長から説明があった太陽光と給湯器の問題がそれぞれ数が出ましたが、トータルで幾つになるのか、また、地域的にはどの地域が、特別集中しているようなところがあったら教えていただきたい。

それと、地元の業者も関係していると思うんですが、地元の業者がどれほどこの事業に関係しているのか、その辺を伺いたい。

以上、お願いします。

議長（大金市美君） 企画財政課長。

企画財政課長（藤田悦男君） 当初予算につきましては1,000万円、12月補正で200万円補正しております。今回500万円ということですので、1,700万円が総体の予算になります。

以上です。

議長（大金市美君） 環境総合推進室長。

環境総合推進室長（佐藤美彦君） 2点目のトータルの数になりますが、太陽光発電のほう

で90件、高効率給湯器で70件を予定いたしております。

それから、地域なんですけど、地域ごとに集計はしてありませんが、町内全体的に補助金の申請があるかと思います。ただ、日照時間の関係で、どうしても日照時間が短い地区というか家に関しては、効率的でないということで申請が少ないという傾向にあるかと思います。

3点目の施工業者の件なんですけど、大きくは、大きな事業者といいますか町外業者がほとんどだと思います。中には地元の施工、大工さんとかそういった建築業者さんも見受けられますが、大きくは大きい施工業者になっております。

以上です。

議長（大金市美君） 益子輝夫君。

2番（益子輝夫君） 私が知りたかったのは、特にこういう景気が悪い状況の中で、業者が仕事がないと。しかし、地元の業者にもできる仕事であるということも聞いております。そういう点では、やっぱりその辺を行政が中心になって、できるだけ地元の業者に仕事が行くような方向を考えられないものかなと思います。せっかく補助金を出しても町外の業者に行っちゃうということになると、金は出したけれども見返りがないと。やっぱりこれからこういう景気の中で、地域の循環型の経済システムというのを考えていかなければならないと思います。補助金を出すのは非常にいいことだし、また太陽光発電とか給湯器ということで、住民がそういうことで関心を持ってふえていくというのはいいことなので、やっぱりそれが地域の循環型の経済システムをつくっていくということを考えたらどうかと思いますが、その辺で町長、考えがあったら伺いたいというふうに思います。

議長（大金市美君） 町長。

町長（福島泰夫君） 私も益子輝夫議員がおっしゃるそのとおりだと思いますが、施工主、いわゆる住宅を建てる方、そういう方が地元業者に依頼している場合と、それから大手の業者に依頼している場合で、大手の業者に依頼している場合は、太陽光発電につきましてもその物件のオプションであったりするものですから、そういう点での地元業者を使ってくれ、こういう要望活動ができるかどうか、それは研究してまいりたいと思いますが、益子議員がおっしゃるように、私もいろんな事業で、できる限り地元の業者にやっていただきたい、そういう気持ちはございますので、ただいまのご意見、これを慎重に考えながら、担当課とも研究してまいりたいと思います。

以上です。

議長（大金市美君） 益子輝夫君。

2番（益子輝夫君） 大変前向きなお答えでありがたいんですが、やっぱりこういう経済状況の中で、自主財源も少なくなってきた。税の収入も少なくなっているという点では、お金を出すほうも大変だと思います。そういう中でこういう補助事業をやられるということはずばらしいことなので、その見返りとして、税金にも跳ね返ってきます。そして、そういうことによって地元の雇用もふえると思います。そういうことを行政が先になって考えて、地域、町民にも説明していくと、業者にももちろん説明していくというような体制、方向を検討すべきだと思います。

以上、要望して終わります。

議長（大金市美君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（大金市美君） 質疑はないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（大金市美君） 討論はないようですので、討論を終わります。

採決を行います。

議案第1号 平成25年度那珂川町一般会計補正予算の議決については原案のとおり決することに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

議長（大金市美君） 異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

議長（大金市美君） 日程第4、議案第2号 那珂川町小川総合福祉センター太陽光発電事業整備工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

〔町長 福島泰夫君登壇〕

町長（福島泰夫君） ただいま上程されました議案第2号 那珂川町小川総合福祉センター太陽光発電事業整備工事請負契約の締結について、提案理由の説明を申し上げます。

この工事は、環境基本計画に基づき町が進める環境のまちづくりにおける再生可能エネルギー活用の一環として整備するもので、小川総合福祉センター東側敷地に太陽光発電施設を設置するものであります。

契約の方法は指名競争入札により行い、12月25日に開札し、当日に落札決定いたしました。その結果、8,687万7,000円で宇都宮市の株式会社美工電気と契約を締結するものであります。

地方自治法第96条第1項第5号及び那珂川町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

詳細につきましては担当室長から説明させますので、ご審議の上議決賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

議長（大金市美君） 環境総合推進室長。

環境総合推進室長（佐藤美彦君） 補足説明を申し上げます。

参考資料をごらんください。

この工事につきましては、先ほど町長から提案理由を申し上げましたとおり、太陽光発電設備を設置するもので、発電した電力は東京電力株式会社に売電するものです。設置する機器は、太陽光発電モジュールを840台、接続箱5台、直流集合盤2台、直流の電流を交流に変換するパワーコンディショナー2台、キュービクル1台などです。工期は、議決を得た日から3日を経過した日から平成26年3月25日であります。

以上で補足説明といたします。

議長（大金市美君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はございませんか。

益子輝夫君。

2番（益子輝夫君） それでは、伺います。

9社ほど入札しているわけですが、一番入札金の低い美工電気が落札しているんですが、一番多いところとの差が4,000万円ぐらいあると思うんですが、これだけの差があつて、果たして本当にいい工事ができるんだろうかという疑問があるんですが、その辺で、町として

の予定価格はどのくらいだったのかも含めてお聞きしたいというふうに思います。

議長（大安市美君） 総務課長。

総務課長（益子 実君） 本工事の予定価格につきましては、8,990万円であります。

以上です。

議長（大安市美君） 益子輝夫君。

2番（益子輝夫君） もう一つ、それと関連した4,000万円近い差ということですが、そのことについても答えていただきたいというのと、予定価格よりもかなり低い額なんです、その辺で、工事とかそういうことに対しての問題点とかそういう点はないんでしょうか。その辺を伺いたいというふうに思います。

議長（大安市美君） 総務課長。

総務課長（益子 実君） 落札の金額については、入札の結果であります。なお、設計書等によりまして予定価格を設定しておりますので、これで十分工事が行えるものと思っております。

議長（大安市美君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（大安市美君） 質疑はないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（大安市美君） 討論はないようですので、討論を終わります。

採決を行います。

議案第2号 那珂川町小川総合福祉センター太陽光発電事業整備工事請負契約の締結については原案のとおり決することに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

議長（大安市美君） 異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

閉会の宣告

議長（大田市美君） 以上で、今期臨時会に付されました事件は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

これにて、平成26年第1回那珂川町臨時会を閉会といたします。

ご起立を願います。礼。

苦勞さまでした。

閉会 午前10時17分